

## 平成 18 年度第 2 回（通算第 5 回）陸上掘削執行部会 議事録

日時：2006 年 7 月 21 日(金) AM10：00～12：20

場所：海洋研究開発機構 東京事務所 小会議室

### 出席（敬称略）

部会長：浦辺徹郎(東京大学大学院)

執行部員：藤井直之(静岡大学),小村健太郎(防災科学技術研究所),角井朝昭(産業技術総合研究所),  
宮石 修(日鉱探開株式会社),中田節也(東京大学地震研究所),山田隆二(防災科学技術  
研究所),長橋 徹(地球科学技術総合推進機構/事務局)

オブザーバー：川村善久(JAMSTEC/CDEX)

### 欠席者(敬称略)

池田隆司(北海道大学),井龍康文(東北大学),小松原純子(産業技術総合研究所),佐藤比呂志(東京  
大学地震研究所),木村克己(産業技術総合研究所),徐垣(海洋研究開発機構),林歳彦(石油天然ガ  
ス・金属鉱物資源機構),福井勝則(東京大学)

### 議事次第(案)

1. 『地球をのぞくファイバースコープ-陸上掘削サイエンス・プラン』パンフレットの完成について
2. サイエンス・プランの増刷について
3. 本年度共催するワークショップについて
4. ICDP 国内実施委員会について
5. その他
  - ・ ICDP 日本語版 HP の更新について
  - ・ 会員提案型活動経費審査委員会について
  - ・ J-DESC News Letter について

### 配布資料

資料 1. 「陸上サイエンス・プランの概要」パンフレット

資料 2. 「The First International Workshop on the COREF Project」First Circular

資料 3. ICDP 国内実施委員会名簿

資料 4. 会員提案型活動経費・選考委員会について

資料 5. J-DESC News Letter について

### 参考資料

- ・ 「台湾チェルンブ断層掘削プロジェクト」パンフレット

## 議事内容

議事に先立ち、事務局より資料の説明（確認）がなされた。

### 1. 『地球をのぞくファイバースコープ-陸上掘削サイエンス・プラン』パンフレットの完成について 2. サイエンス・プランの増刷について

（議事1と2については、まとめて報告・審議をおこなった）

浦辺部会長より、「サイエンス・プランの概要」パンフレット（資料1）について、発行の経緯、概要等について説明がなされ、引き続き、山田委員（デザイン担当）より、内容について説明・解説がなされた。

- ・J-DESC 会員機関に、数十部ずつ配布予定。
- ・視覚的（陸上掘削の3次元概念図）に大変良い。
- ・読売新聞に取り上げられる予定。

続いて、浦辺部会長よりパンフレット印刷について、その経緯や現状に関する説明がなされ、サイエンス・プラン増刷について審議が行われた。

- ・当初予定していた印刷が5月〔陸上掘削に関する情報交換会〕に間に合わない。  
・原因の一因として、デザイナーとの意思疎通が悪かった。
- ・当初予算よりも、印刷費が増大。

#### 予算概要（経緯）

- デザイン料として、273,786円支払い済（平成17年度予算）
- 3月 印刷費として、544,950円を想定（パンフレット2,000部）
- 6月中旬 印刷費として、1,050,000円に増大（パンフレット2,000部）・支払い難しい
- 7月 交渉の結果、パンフレット印刷費として、690,000円（パンフレット4,000部）とサイエンス・プラン印刷費として、436,000円（200部）の計1,126,000円としてまとめて扱う〔パンフレットの印刷費を抑える〕

#### < 審議事項 >

- ・「サイエンス・プラン」パンフレットの印刷部数増加に伴う印刷費の増額  
（部数：2,000 4,000部、印刷費：544,950 690,000円）
- ・「サイエンス・プラン」増刷  
（部数：200部、印刷費：436,000円）

#### < 承認事項 >

1. 「サイエンス・プラン」パンフレット印刷部数増刷（印刷費の増額）
2. 「サイエンス・プラン」の増刷（200部）〔保管場所はAESTO本部とする〕  
「サイエンス・プラン」増刷の経費は、下半期会員提案型活動経費で賄う予定（不足分は、陸上部会経費より支出）

議事 3 に先立ち、浦辺部会長より、新執行部員として日鉦探開の宮石氏（日鉦探開の谷氏の退任に伴い）の紹介が行われ、本執行部会で承認された。

また、退任された谷氏に引き続き、ボーリング技術協会にリエゾンとして参加して頂くことが確認された。

### 3. 本年度共催するワークショップについて

浦辺部会長より、ICDP で採択されたワークショップ（2 件）について説明がなされ、支援方法等について審議がなされた。

- ・南海トラフ陸上掘削（名古屋大学、鷺谷氏）
- ・COREF 計画（東北大学、井龍氏）（資料 2）
- ・井龍氏より、COREF 計画については、J-DESC との共催したい旨の申込があった。
- ・J-DESC 総会で、平成 18 年度の陸上掘削部会経費に Workshop 開催費（60 万円）を計上済（承認）  
[ 上記 2 件のワークショップと DEEP SEISMIX 2006 に支援予定 ]

#### < 確認事項 >

- ・当初予定していた DEEP SEISMIX 2006 については保留とする（現在、進展なし）
- ・雲仙掘削の例を考慮すると、人件費（アルバイト代等）や会場代等の支援を望まれると思うが、J-DESC としてはアブストラクト等の印刷代など使い道が解るようにする。
- ・COREF ワークショップの支援方法は、主催者の井龍氏と相談する。
- ・鷺谷氏提案の南海トラフ陸上掘削ワークショップの開催日程等については、事務局で確認する。

#### < 承認事項 >

- ・COREF ワークショップは、J-DESC 共催とする（陸上掘削部会より IODP 部会へ報告する）。
- ・COREF ワークショップへの支援は、現時点で上限 30 万とする。

### 4. ICDP 国内実施委員会について

浦辺部会長より、ICDP 国内実施委員について説明がなされた（資料 3）。引き続き、藤井委員（ICDP 国内実施委員会・委員長）より、ICDP 国内実施委員の選出について説明がなされた。

- ・陸上掘削部会執行部会が推薦し、ICDP 国内連絡調整会で承認の形をとっている。
- ・新たに選出された委員は、金沢大学の荒井氏（SAG 委員）、東北大学の井龍氏、産総研の木村氏、東京大学の佐藤氏、広島大学の長沼氏の 5 名。
- ・事後承諾になってしまうが、ICDP 国内実施委員の推薦を承諾して頂きたい。
- ・ICDP 国内実施委員の任期が 2 年から 3 年に変更になった。
- ・ICDP/SAG 委員の推薦も、陸上掘削部会執行部会のタスク。
- ・ICDP/SAG 委員 2 名は、地球物理学分野と地質分野から選出している。
- ・ICDP/SAG 委員と ICDP 国内実施委員の任期が同期間（3 年）になっていることについて、ご意見があった。

<承認事項>

- ・陸上掘削部会執行部として、ICDP 国内実施委員会の委員（名簿）を推薦する。

## 5. その他

(1) J-DESC 会長の後任選出について

- ・現 J-DESC 会長の石原氏より、来年度の総会で退任する意向が（個人的）に伝えられた。
- ・J-DESC 会長の後任（選出）について継続的に検討を行って行く。
- ・関係各位に、内々に打診する。

(2) 会員提案型活動経費選考委員会について

事務局より、資料4に基づき、標記、会員提案型活動経費選考委員の変更について説明がなされた。

- ・選出基準に基づき、選考委員長が巽氏より、北里氏に変更になった。
- ・北里氏の委員長就任に伴い、選考委員が1人欠員している状況である。
- ・会員提案型活動経費上半期の募集分の審査は、この状態で実施。
- ・J-DESC IODP 部会では承認済。
- ・選出基準に照らし合わせると、選考委員にもコンフリクトがあることが指摘された。

<確認事項>

- ・下半期募集までに、欠員の選考委員1名を選出する。
- ・下半期募集までに、選考委員会の選考基準の改訂等を含めた検討を行う。

<承認事項>

- ・会員提案型活動経費選考委員長の巽より北里氏への変更。

(3) J-DESC News Letter について

事務局より、資料5に基づき、J-DESC News Letter vol. 01 について、目次案、発行部数等について説明がなされた。

- ・ICDP News Letter を統合して、J-DESC News Letter として9月に発行予定。
- ・IODP 部会と陸上掘削部会の活動が一目で解るようにする。
- ・「陸上掘削研究に関する情報交換会」の記事を掲載する。
- ・掲載は、陸上掘削部会の活動とする。

(4) 「陸上掘削研究に関する情報交換会」について

- ・来年度以降も継続して開催をしていく（夜間招集会）。
- ・陸上掘削部会の1つのイベントとして位置付ける。
- ・新しい分野（地下圏生物など）を取り入れていく。

以上